



2019年11月7日

各 位

会 社 名 日 本 金 銭 機 械 株 式 会 社
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 上 東 洋 次 郎
 (コード番号：6418 東証第1部)
 問 い 合 せ 先 執 行 役 員
 経 営 企 画 本 部 副 本 部 長 山 崎 統 司
 電 話 (06) 6703-8400 (代表)

**第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ**

2019年9月19日に公表いたしました2020年3月期第2四半期の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

併せて、最近の業績動向を踏まえ、2020年3月期の業績予想につきましても、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、これによる配当予想の変更はありません。

記

1. 2020年3月期第2四半期（累計）連結業績予想値と実績値との差異について

(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,400	170	10	△170	△5.74
実績値 (B)	13,508	62	△103	△290	△9.79
増減額 (B) - (A)	108	△108	△113	△120	—
増減率 (%)	0.8	△63.5	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	15,585	996	1,450	1,047	35.33

2. 2020年3月期通期連結業績予想値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,500	600	450	150	5.06
今回修正予想 (B)	25,900	△520	△690	△1,060	△35.75
増減額 (B) - (A)	△1,600	△1,120	△1,140	△1,210	—
増減率 (%)	△5.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績	31,270	1,973	2,265	1,288	43.48

3. 第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異の理由、及び通期業績予想の修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異の理由

前回予想値との差異については、営業利益、経常利益では、研究開発費等の経費計上の進捗時期が見込みと相違したことに加え、特別損失では、投資有価証券評価損23百万円を計上したことから、四半期純利益に差異が生じました。

(2) 通期業績予想の修正の理由

欧州ゲーミング市場向けの販売については、ドイツでのゲーミング関連の法改正の影響を受けて、前期における規制強化前の駆け込み需要の反動により、特に大手顧客への販売が大きく減少することや、北米ゲーミング市場向けにおいても、需要の一巡により軟調傾向にあります。また、国内遊技場向け機器事業でも、風営法規制や依存症対策の影響により市場環境の回復に至らず、いずれも前回予想より売上高は16億円減少する見通しです。また、前期比較においては、欧州市場向けで約40億円、北米市場向けでも約10億円の減収となります。

さらに、グループの生産体制として、コストダウンや安定生産を主目的に、海外生産における中国集中からフィリピン国での生産移管を進めておりますが、当期には米国での追加関税の発動があり、同国への生産移管を加速させたことから、そのための一時的な費用(約60百万円)が増加する見込みであります。

その結果、営業利益段階では520百万円の営業損失を計上する見通しであります。また、営業外損益では、約2億円の為替差損を計上(米ドル相場を108円と想定)する見通しであります。前期には184百万円の為替差益を計上しており、前期対比では約4億円の減益要因となります。この結果、経常利益では690百万円の経常損失に達する見通しであります。

さらに、法人税において、一部の海外関係会社では利益計上に伴う法人税の計上がある一方で、損失計上となる一部の関係会社では欠損金に対する税効果会計が適用されないことなどから、連結決算上では、690百万円の経常損失であるにも関わらず、法人税の計上が見込まれるため、当期純利益は1,060百万円の当期純損失を見込んでいるなど、営業利益以下の各段階利益は前回予想値を下回る見通しであります。

なお、前回ならびに今回の予想値の想定米ドルレートは108円を前提としております。外貨建資産を時価評価した場合に、対米ドルで1円円高に進んだ場合は約50百万円の為替差損(円安の場合は差益)が見込まれます。

当社グループは、当面、厳しい環境が予測される欧州地域を中心とした海外ゲーミング市場、国内の遊技場向け機器市場の需要予測を注視しつつ、様々なリスク要因に対する施策を講じ、早期の業績の回復、安定に向けて、事業の運営に取り組んでまいります。そのために、最優先課題として、現在、推進中の全事業計画の見直しを図り、緊急避難的な経営改善策と抜本的な経営改革策を進めてまいります。

今後の当社グループの業績動向については、国内外市場での需要動向をはじめ、国際貿易に係る関税、為替相場の変動等による影響の懸念事項に対しまして、従前以上に慎重に注視してまいります。業績への影響が生じた際には、内容を精査の上、適時開示が必要な場合は、速やかに公表してまいります。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。